

2024 Autumn



学校ビオトープで佐伯の生き物を観察



ロボットを使った地域交流



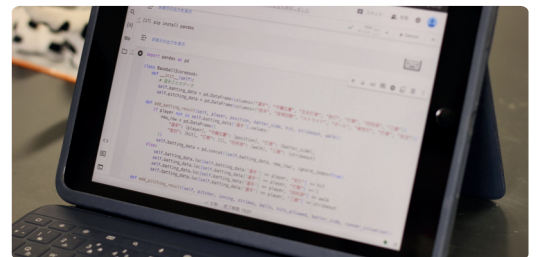
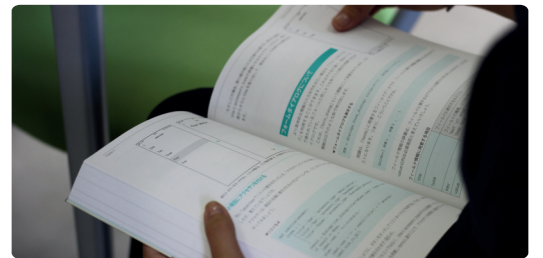
出張アーチェリー教室



プログラミングを使った野球の分析



ひも理論の探究



Saeki Quest 3rd grade

出張アーチェリー教室

開催したイベント情報

「やまざとマルシェ」

日時：9月29日(日)

場所：HIROHAI佐伯総合スポーツ公園

アーチェリー部を引退した3年生の生徒が、出張アーチェリー教室を行いました。こちらの生徒はアーチェリーを知らない方にアーチェリーの楽しさを知ってほしいと、この出張型のイベントを企画しました。開催するにあたり、佐伯国際アーチェリーランドの方々にもご協力いただき、また佐伯高校生にもボランティアスタッフを募りました。生徒はこの経験で周りに協力を呼び掛ける力を身につけ、イベントをカタチにする達成感を感じられたのではないのでしょうか!?当日はアンケートの実施も



行なわれ、今後の課題はアーチェリーを一人一人に楽しんでもらいたいと思い、順番を待っている方の負担のバランスの調整となりそうです。次回のイベントも企画しているそうなので、乞うご期待!

ロボットを使った地域交流

出張アーチェリー体験教室の隣のブースでは、2,3年生の生徒たちがロボットの無料体験イベントを行いました。こちらの生徒たちは、昨年からDX(遠隔操作などのデジタル技術)を使って地域貢献をしたいと探究しているチームです。今回のイベントでは学校が所有している遠隔操作ロボットを使って対戦ゲームを行い、子どもたちとの交流を図りました。参加者の中には佐伯高校の取り組みに興味を持ってくださった親御さんもいて、お子さまが大きくなったら「やりたいに挑戦したいなら佐伯高校!」と覚えてくれていたらいいなと思った私でした。DXを使った探究はまだまだ続く予定です、こちらも今後の活躍に乞うご期待!

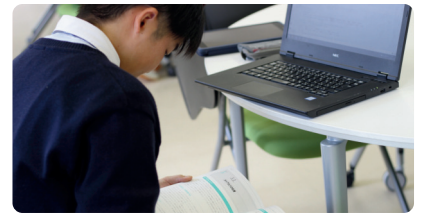


プログラミングを使った野球の分析

こちらの生徒はこれまでプログラミングを使って制球力を上げる探究を行っています。現在は3年生になり野球部を引退していますが、今後は後輩に活用してもらうため作成を続けています。プログラミングを使ってプレーを分析できるようになると、スコアを見れない生徒でも分析が可能になり、自分



のレベルや「こういう時にここが弱い」と自覚が出来、だれでも弱点強化が行えるようになるそうです!現在はある関数の使い方に戸惑っている彼女ですが、苦勞するくらいでないやりのない笑顔で話してくれました。



ひも理論の探究

こちらの生徒はひも理論について探究をしています。「ひも理論とは相対性理論と量子力学を合体させた理論のことです」と生徒は話し、それはどういうことか尋ねると、相対性理論は等身の事柄で、量子力学はミクロの事柄で、素粒子は点であり突き詰めると大きさがなく観測できないという。それをひもに置き換えて考えることで大きさが生まれ、形も変えることが可能になる。そう楽しそうに説明している彼を見ると、内なる探究が深まっている様子が伝わってきます!



学校ビオトープで佐伯の生き物を観察



皆さんは学校ビオトープという場所をご存じでしょうか?こちらの生徒はとにかく生き物が好き!ということで、学校にある生きものの暮らしを支える場所として設けられている池や草地「ビオトープ」を観測場所として選び、佐伯に住む生態系について探究を

行っています。ある時いつものように観察していると、葉っぱのようなものがいくつも浮いていることに気がつき、気になって手に取ってみるとミズメイガというガの幼虫の“みの”だったそう!発見時の驚いた様子を楽しそうに伝えてくれ、「まあ、害虫なんですけどね」と最後に付け加えて笑わせてくれました。今後は冬にビオトープの清掃を行い、生き物にとって住みやすい環境を作りたいと話しています。



SAEKI QUESTとは?.....

学校と地域をフィールドに生徒が答えのない課題に挑戦する探究学習のことで。生徒の興味関心や進路に応じて自由な探究課題を設定し、取り組んでいます。探究の進捗状況は地域支援員ホームページでも紹介しています。ぜひご覧ください!

